

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3 沖縄離島住民等交通コスト負担軽減事業		新沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所 (第4章)	2-(8)-ア-①			
	企画部 交通政策課			交通コスト等の低減			
担当部署名	企画部 交通政策課	事業実施 (予定)年度	H24~R13 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-9-(2)		
事業内容	①離島住民が移動しやすい環境の構築を図るため、航路についてはJR在来線並み、航空路については新幹線並みの水準を参考に離島住民の移動費用負担を軽減する。 ②入域者数の維持による地域の活性化に資するため、小規模離島及び久米島の交流人口の航空運賃の負担を軽減し、入域観光客数の増加を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】		R4年度	R4年度(繰越)	R5年度	R5年度(繰越)	R6年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	2,364,421		2,663,225		2,866,784
		(b) 予算現額	2,600,496		2,980,755		3,485,802
		(c) 増減額(b-a)	236,075	0	317,530	0	619,018
		(d) 前年度繰越額					
		A. 計(b+d)	2,600,496	0	2,980,755	0	3,485,802
	B. 執行済額		2,598,256		2,948,540		3,338,061
	うち交付金充当額		2,078,604		2,358,832		2,670,448
	C. 次年度繰越額				0	0	0
	執行率(%) (B/A)		99.9%		98.9%		95.8%
予算の状況の説明		離島住民等の当該事業の利用が回復したことにより、当初予算より619,018千円増額し対応した。執行率は95.8%となっている。					
活動目標 (指標) 及び進捗状況	R6活動目標(指標)		進捗状況				
	①離島住民 船賃及び航空運賃の割引率	目標	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
		実績	船賃 約3割~7割 航空運賃 約4割	船賃 約3割~7割 航空運賃 約4割	船賃 約3割~7割 航空運賃 約4割	船賃 約3割~7割 航空運賃 約4割	船賃 約3割~7割 航空運賃 約4割 ~6割
	②交流人口 航空運賃の割引率	目標	小規模離島 約3割 久米島町 約1.5割	小規模離島 約3割 久米島町 約1.5割	小規模離島 約3割 久米島町 約1.5割	小規模離島 約3割 久米島町 約1.5割	
		実績	小規模離島 約3割 久米島町 約1.5割	小規模離島 約3割 久米島町 約1.5割	小規模離島 約3割 久米島町 約1.5割	小規模離島 約3割 久米島町 約1.5割	
	進捗状況説明	①離島住民の船賃及び航空運賃の割引率については、航路においては24航路で約3割~7割低減し、航空路においては13路線で約4~6割低減したことから活動目標を達成した。 ②交流人口の航空運賃の割引については、小規模離島で約3割低減し、久米島町で約1.5割の低減を実施したことから活動目標を達成した。					
成果目標 (指標) 及び達成状況	R6成果目標(指標)		基準値 (H23年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (R7年度)
	低減化した路線における航路・航空路の利用者数(離島住民)	目標	-	航空路422千人 航路655千人	航空路422千人 航路655千人	航空路422千人 航路655千人	航空路422千人 航路655千人
		実績	-	航空路418千人 航路528千人	航空路528千人 航路567千人	航空路527千人 航路582千人	-
	低減化した路線における航路・航空路の利用者数(交流人口)	目標	-	・小規模離島入域観光客数52,000人 ・久米島入域観光客数112,000人	・小規模離島入域観光客数52,000人 ・久米島入域観光客数112,000人	・小規模離島入域観光客数52,000人 ・久米島入域観光客数112,000人	・小規模離島入域観光客数52,000人 ・久米島入域観光客数112,000人
		実績	-	・小規模離島入域観光客数49,395人 ・久米島入域観光客数84,779人	・小規模離島入域観光客数56,766人 ・久米島入域観光客数90,082人	・小規模離島入域観光客数集計中 ・久米島入域観光客数88,527人	-
	達成状況説明	①離島住民 負担軽減された離島住民利用者数は、航路においては目標達成ができなかったものの、航空路は目標を達成しており、コロナ禍の影響から回復途上といえる。 ②交流人口 久米島入域観光客数は、目標達成できなかったものの、R3年度から増加傾向が続いておりコロナ禍の影響から回復途上にある(なお、小規模離島入域観光客数については、県地域・離島課発行「離島関係資料」から抜粋しており、R6年度実績はR7.3月発行版に掲載予定。)。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	①航路については、現在、離島住民のみを対象としているが、地域からは、離島住民以外の交流人口も対象として拡充を求める声がある。 ②航空路においては、補助対象の拡充を求める声がある。	①航路については、地域の事情も勘案しながら、安定的かつ継続的な事業実施の観点の下、スキームを検討していく。 ②事業の拡充については、本事業が安定的かつ継続的に実施できる事業環境を確保しつつ、各航路、航空路の課題や公平性等を考慮して検討する必要がある。
今後の取り組み方針		
ソフト交付金事業から国事業へ移管することとなったため、事業の安定的かつ継続性を確保しつつ、円滑な事業実施に取り組む。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
3,338,061	3,338,061	2,670,448	667,613	0	0	0

沖縄県 交付対象事業費 3,338,061 千円	負担金 3,296,828 千円	7航空事業者 2,994,467 千円 17航路事業者 277,113 千円 9市町村 25,248 千円	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>日本トランスオーシャン航空</td><td align="right">1,389,049</td></tr> <tr><td>2</td><td>琉球エアコミューター</td><td align="right">1,146,798</td></tr> <tr><td>3</td><td>全日本空輸</td><td align="right">431,715</td></tr> <tr><td>4</td><td>ソラシドエア</td><td align="right">1,650</td></tr> <tr><td>5</td><td>第一航空</td><td align="right">9,904</td></tr> <tr><td>6</td><td>スカイマーク</td><td align="right">12,557</td></tr> <tr><td>7</td><td>日本航空</td><td align="right">2,794</td></tr> <tr><td></td><td>計</td><td align="right">2,994,467</td></tr> </table>	1	日本トランスオーシャン航空	1,389,049	2	琉球エアコミューター	1,146,798	3	全日本空輸	431,715	4	ソラシドエア	1,650	5	第一航空	9,904	6	スカイマーク	12,557	7	日本航空	2,794		計	2,994,467	航空運賃低減に係る負担金																													
	1	日本トランスオーシャン航空	1,389,049																																																						
	2	琉球エアコミューター	1,146,798																																																						
	3	全日本空輸	431,715																																																						
	4	ソラシドエア	1,650																																																						
	5	第一航空	9,904																																																						
	6	スカイマーク	12,557																																																						
	7	日本航空	2,794																																																						
		計	2,994,467																																																						
			<table border="1"> <tr><td>1</td><td>伊平屋村</td><td align="right">18,473</td></tr> <tr><td>2</td><td>伊是名村</td><td align="right">23,558</td></tr> <tr><td>3</td><td>伊江村</td><td align="right">65,162</td></tr> <tr><td>4</td><td>水納海運</td><td align="right">975</td></tr> <tr><td>5</td><td>神谷観光</td><td align="right">7,507</td></tr> <tr><td>6</td><td>久高海運</td><td align="right">7,365</td></tr> <tr><td>7</td><td>渡嘉敷村</td><td align="right">18,653</td></tr> <tr><td>8</td><td>座間味村</td><td align="right">20,674</td></tr> <tr><td>9</td><td>粟国村</td><td align="right">18,040</td></tr> <tr><td>10</td><td>久米商船</td><td align="right">14,554</td></tr> <tr><td>11</td><td>大東海運</td><td align="right">190</td></tr> <tr><td>12</td><td>大神海運</td><td align="right">189</td></tr> <tr><td>13</td><td>多良間海運</td><td align="right">617</td></tr> <tr><td>14</td><td>八重山観光フェリー</td><td align="right">50,982</td></tr> <tr><td>15</td><td>安栄観光</td><td align="right">28,956</td></tr> <tr><td>16</td><td>船浮海運</td><td align="right">1,150</td></tr> <tr><td>17</td><td>福山海運</td><td align="right">68</td></tr> <tr><td></td><td>計</td><td align="right">277,113</td></tr> </table>	1	伊平屋村	18,473	2	伊是名村	23,558	3	伊江村	65,162	4	水納海運	975	5	神谷観光	7,507	6	久高海運	7,365	7	渡嘉敷村	18,653	8	座間味村	20,674	9	粟国村	18,040	10	久米商船	14,554	11	大東海運	190	12	大神海運	189	13	多良間海運	617	14	八重山観光フェリー	50,982	15	安栄観光	28,956	16	船浮海運	1,150	17	福山海運	68		計	277,113
1	伊平屋村	18,473																																																							
2	伊是名村	23,558																																																							
3	伊江村	65,162																																																							
4	水納海運	975																																																							
5	神谷観光	7,507																																																							
6	久高海運	7,365																																																							
7	渡嘉敷村	18,653																																																							
8	座間味村	20,674																																																							
9	粟国村	18,040																																																							
10	久米商船	14,554																																																							
11	大東海運	190																																																							
12	大神海運	189																																																							
13	多良間海運	617																																																							
14	八重山観光フェリー	50,982																																																							
15	安栄観光	28,956																																																							
16	船浮海運	1,150																																																							
17	福山海運	68																																																							
	計	277,113																																																							
		<table border="1"> <tr><td>1</td><td>南大東村</td><td align="right">178</td></tr> <tr><td>2</td><td>北大東村</td><td align="right">22</td></tr> <tr><td>3</td><td>久米島町</td><td align="right">4,203</td></tr> <tr><td>4</td><td>宮古島市</td><td align="right">9,196</td></tr> <tr><td>5</td><td>多良間村</td><td align="right">305</td></tr> <tr><td>6</td><td>石垣市</td><td align="right">8,451</td></tr> <tr><td>7</td><td>竹富町</td><td align="right">198</td></tr> <tr><td>8</td><td>与那国町</td><td align="right">2,695</td></tr> <tr><td>9</td><td>粟国村</td><td align="right">0</td></tr> <tr><td></td><td>計</td><td align="right">25,248</td></tr> </table>	1	南大東村	178	2	北大東村	22	3	久米島町	4,203	4	宮古島市	9,196	5	多良間村	305	6	石垣市	8,451	7	竹富町	198	8	与那国町	2,695	9	粟国村	0		計	25,248	航空運賃低減の還付に係る負担金																								
1	南大東村	178																																																							
2	北大東村	22																																																							
3	久米島町	4,203																																																							
4	宮古島市	9,196																																																							
5	多良間村	305																																																							
6	石垣市	8,451																																																							
7	竹富町	198																																																							
8	与那国町	2,695																																																							
9	粟国村	0																																																							
	計	25,248																																																							
	委託料 37,706 千円	4市町村 17,734 千円 1事業者 19,972 千円	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>石垣市</td><td align="right">3,495</td></tr> <tr><td>2</td><td>宮古島市</td><td align="right">6,982</td></tr> <tr><td>3</td><td>久米島町</td><td align="right">3,316</td></tr> <tr><td>4</td><td>与那国町</td><td align="right">3,941</td></tr> <tr><td>5</td><td>株式会社サーベイリサーチ</td><td align="right">19,972</td></tr> <tr><td></td><td>計</td><td align="right">37,706</td></tr> </table>	1	石垣市	3,495	2	宮古島市	6,982	3	久米島町	3,316	4	与那国町	3,941	5	株式会社サーベイリサーチ	19,972		計	37,706	航空運賃低減の還付に係る事務の委託に要する費用																																			
1	石垣市	3,495																																																							
2	宮古島市	6,982																																																							
3	久米島町	3,316																																																							
4	与那国町	3,941																																																							
5	株式会社サーベイリサーチ	19,972																																																							
	計	37,706																																																							
	事務費 3,527 千円	報酬 2,168 千円 共済費 436 千円 職員手当 818 千円 旅費 105 千円 需用費 0 千円		経済波及効果調査業務																																																					

資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○負担金については、事業者に対し、運賃低減にかかる減収補填を適正に交付したほか、市町村に対し、航空運賃の還付に要する分を適正に交付した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○委託料については、航空運賃の還付にかかる事務を当該市町村に委託することで選定方法は妥当であった。更に当事業の経済波及効果調査業務委託については、プロポーザル方式による事業者選定を行った。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	56	水道基盤強化推進事業	新沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所 (第4章)	2-(8)-1-①			
担当部課名	保健医療介護部 業務生活衛生課	事業実施 (予定)年度	H24-R13 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	水道施設の整備、水道広域化 の推進、水道用水の安定確保		
事業内容	水道広域化により、本島と離島の水道サービスの格差を是正し、定住条件の整備を図るため、水道広域化の早期実現に向けて必要な施設整備等の取組を実施する。						
効果発現年度	■当年度 ■後年度(令和7年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他 ()						
予算額・ 執行額 【単位:千円】		R4年度	R4年度(繰越)	R5年度	R5年度(繰越)	R6年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	17,569	0	21,274	0	11,875
		(b) 予算現額	11,684	0	21,274	0	11,875
		(c) 増減額(b-a)	▲ 5,885	0	0	0	0
		(d) 前年度繰越額		0	0	0	0
		A. 計(b+d)	11,684	0	21,274	0	11,875
	B. 執行済額		10,722	0	20,674	0	11,069
	うち交付金充当額		8,578	0	16,539	0	8,855
	C. 次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		91.8%		97.2%		93.2%
予算の状況の説明		水道広域化に必要な施設整備等を実施するための予算を計上し、執行率は93.2%で概ね計画的に執行できた。					
活動目標 (指標) 及び進捗状況	R6活動目標(指標)		進捗状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	対象村において県企業局から水道用水の供給を開始:2村(座間味島、渡名喜村)(R7)	目標				—	
		実績				—	
	対象村において水道広域化に必要な施設整備等を実施:1村(座間味島)	目標				1村	
実績					1村		
進捗状況説明	水道広域化実施市町村数について、渡名喜村における関連工事に遅れが生じているため、R9年度に水道用水供給の開始を予定している。						
成果目標 (指標) 及び達成状況	R6成果目標(指標)		基準値 (〇〇年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (R7年度)
	水道広域化実施市町村数:2村(座間味島、渡名喜村)(R7)	目標				—	2村
		実績				—	1村
	水道広域化に必要な施設整備等実施市町村数:1村(座間味島)(R6)	目標				1村	
		実績				1村	
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・早期の水道広域化実現及び水道サービス水準の向上が図られるよう、水道広域化(本島周辺離島8村への水道用水供給拡大)を実施する県企業局へ、引き続き、広域化に必要な施設整備等に係る支援を行う。 ・今後の本県における水道の広域連携・広域化の推進を図るために必要となる検討業務を実施する。 ・小規模事業体においては、要望に応じて県企業局の協力のもと課題の整理・調整を実施する。 						

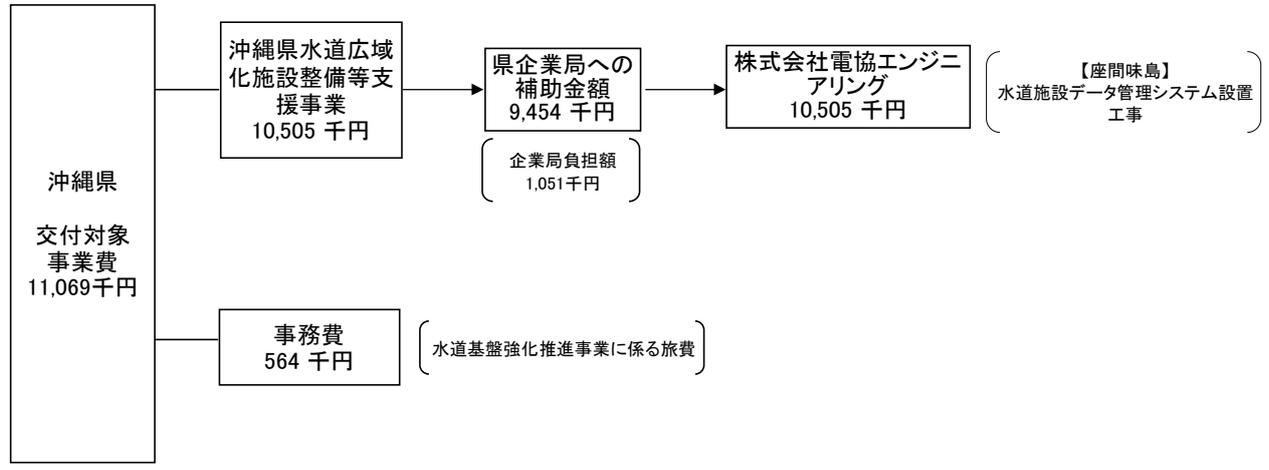
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・渡名喜村(受贈用地登記等の問題)の広域化スケジュールに遅れが生じている。 ・平成30年12月に水道法が改正され、都道府県には広域的な水道事業者等との連携及び水道基盤強化に関する施策の策定や実施が求められている。 ・小規模事業者は、今後の水道広域化に支障となる技術的な課題を抱えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・渡名喜村について、課題を整理し、水道広域化(県企業局からの水道用水受水)を推進する必要がある。 ・今後の本県における水道の広域連携・広域化の推進を図るために必要となる検討業務を行う必要がある。 ・小規模事業者においては、今後の水道広域化に向けた課題の整理・調整が必要である。

今後の取り組み方針

- ・早期の水道広域化実現及び水道サービス水準の向上が図れるよう、水道広域化(本島周辺離島8村への水道用水供給拡大)を実施する県企業局へ、引き続き、広域化に必要な施設整備等に係る支援を行う。
- ・今後の本県における水道の広域連携・広域化の推進を図るために必要となる検討業務を実施する。
- ・小規模事業者においては、要望に応じて県企業局の協力のもと課題の整理・調整を実施する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金				交付対象外経費
		充当額	県負担金	市町村負担金	その他	
11,069	11,069	8,855	1,163	0	1,051	0



資金の用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○費目・使途については、補助事業検査等で適正であることを確認した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

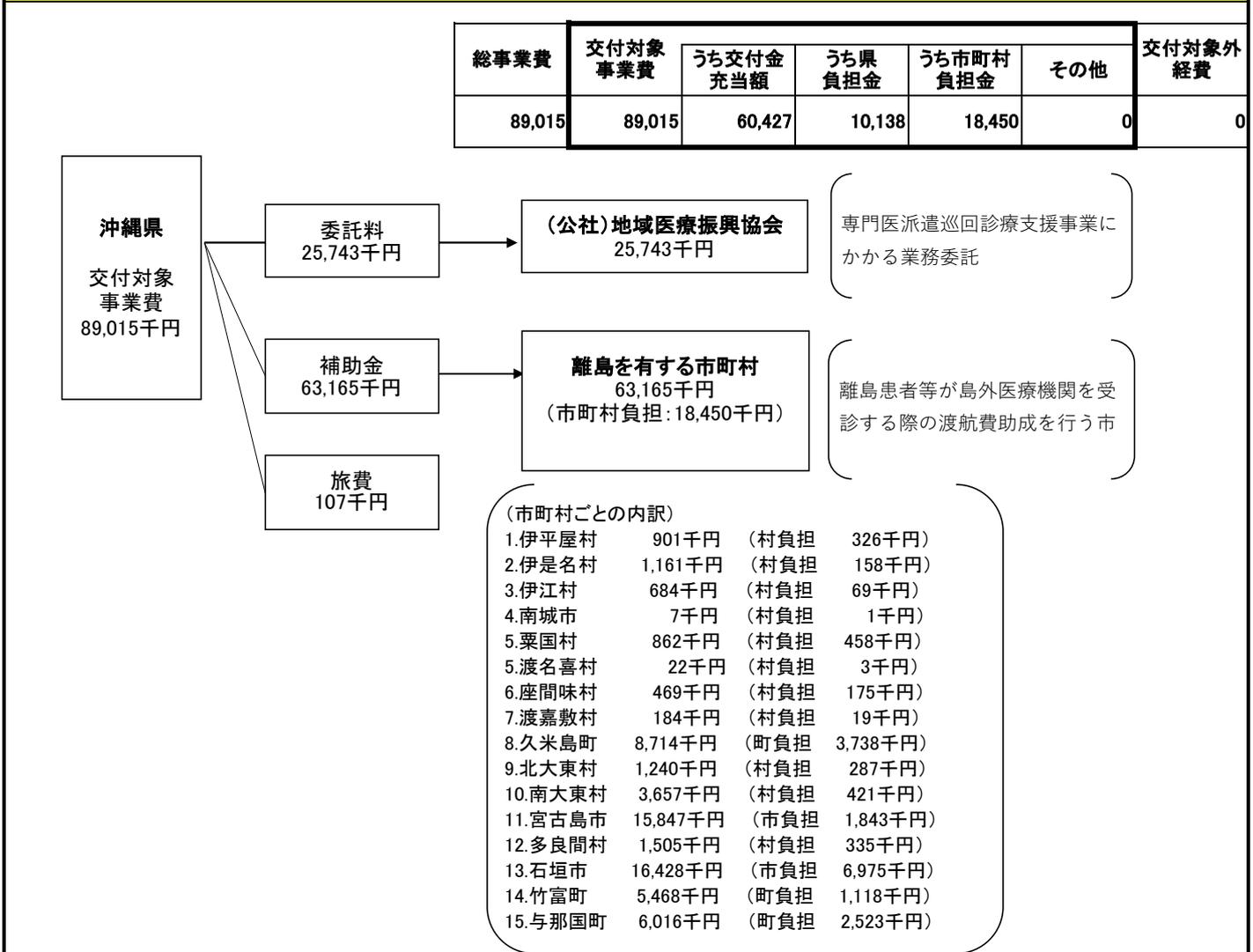
事業番号・事業名	54	離島医療体制確保支援事業	新沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所（第4章）	2-(8)-ウ-①			
担当部課名	保健医療介護部 医療政策課	事業実施（予定）年度	R4～R13 年度	地域の实情に応じた医療提供体制の確保と遠隔医療の推進			
事業内容	離島に住む住人が、島内で専門医の診察を受診できるよう、離島診療所において専門医による巡回診療を実施する。島外での受診が困難な患者等が島外の医療施設に通院する経済的負担を軽減するため、市町村に対する補助を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度（ 年度）						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額【単位：千円】		R4年度	R4年度（繰越）	R5年度	R5年度（繰越）	R6年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	55,614		64,091		71,711
		(b) 予算現額	73,405		88,096		71,711
		(c) 増減額 (b-a)	17,791	0	24,005	0	0
		(d) 前年度繰越額					
	A. 計 (b+d)		73,405	0	88,096	0	71,711
		B. 執行済額	65,805		70,223		70,565
		うち交付金充当額	52,644		60,127		60,427
		C. 次年度繰越額			0	0	0
		執行率 (%) (B/A)	89.6%		79.7%		98.4%
	予算の状況の説明	細事業「専門医派遣巡回診療支援事業」において台風等の荒天によるフェリーの欠航等により一部の巡回診療が中止になったものの、細事業「離島患者等通院費支援事業」の実績が年々増加していることから、執行率98.4%と高くなっている。					
活動目標（指標）及び進捗状況	R6活動目標（指標）		進捗状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	巡回診療回数	目標	96回	75回	45回	70回	
		実績	67回	74回	66回	67回	
	巡回診療受診者数	目標		850人	500人	850人	
		実績		911人	845人	893人	
	渡航費支援により負担軽減された患者等の人数	目標		2,500人	3,300人	4,000人	
実績			3,253人	4,328人	5,605人		
進捗状況説明	巡回診療回数は目標70回に対し台風等の荒天によるフェリーの欠航等により一部巡回診療が中止になったことにより実績67回となり目標を下回ったものの、巡回診療受診者数は目標850人に対し実績893人、渡航費支援により負担軽減された患者等の人数は目標4,000人に対し実績5,605人と、いずれも目標を達成した。						
成果目標（指標）及び達成状況	R6成果目標（指標）		基準値（〇〇年度）	R4年度	R5年度	R6年度	目標値（R7年度）
	離島診療所では対応が困難な専門診療科を定期的に受診できる離島数	目標		9カ所			
		実績		5カ所			
	島民の巡回診療受診者数	目標			500人		
		実績			845人		
	市町村の通院費助成制度を利用した患者等の人数	目標			3,300人		
		実績			4,328人		
	巡回診療を受診した者のうち、年度末時点で島内に居住している者の割合	目標				100%	
		実績				99%	
	通院費支援制度を活用した離島患者等のうち、年度末時点で島内に居住している者の割合	目標				100%	
実績					95%		
【R7成果目標】	巡回診療を受診した者のうち、年度末時点で島内に居住している者の割合	目標				100%	
【R7成果目標】	通院費支援制度を活用した離島患者等のうち、年度末時点で島内に居住している者の割合	目標				100%	
達成状況説明	成果目標としている「巡回診療を受診した者のうち、年度末時点で島内に居住している者の割合」及び「通院費支援制度を活用した離島患者等のうち、年度末時点で島内に居住している者の割合」はどちらも目標値の100%を下回っているが、ほぼそれに近い実績となっている。なお、100%をとらない要因として、子供の進学のための島外転居やもともと転居が予定されている教員が含まれるほか、死亡した者も含まれる。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>・各離島市町村、診療所からのニーズに応じ、医師確保に係る他の事業や派遣元病院との連携の他、近隣の中核病院の協力を得て、派遣医師の確保・実施に努めたが、天候や専門医との実施日程等、タイミングとが合致せず実施できないことがあった。</p> <p>・全国的な専門医不足の中、離島への巡回診療を行う医師の確保はますます厳しくなっているほか、確保していた医師が荒天で急遽派遣中止となることがあり、巡回診療が滞ると離島住民に経済的・身体的に大きな負担になると考えられる。</p>	<p>・離島診療所及び町村役場との緊密な連絡・調整により、離島診療所の現状・天候等に応じた、専門科診療の受診機会の確保に努める。</p> <p>・離島住民の負担軽減・安定的な医療の確保に向け、既存の派遣元医療機関の他、医師会等の医療に携わる団体とも連携し、医師派遣に協力する医療機関の拡充を図るとともに、荒天によるフェリーの欠航等の際にオンライン診療に切り替える等の取組を検討する必要がある。</p>

今後の取り組み方針

巡回診療を実施できていない離島診療所もあることから、離島診療所及び町村役場の協力を得て、慢性的に巡回診療が必要な診療科や季節等の時期に応じた診療科のニーズを把握し、地域の医療ニーズに応じた適切な巡回診療を実施する。
また、派遣医師の確保に取り組むとともに、オンラインによる巡回診療についても検討する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流れる点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
○		支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は、へき地医療の充実を図ることを目的に設立された公益社団法人である。 ○医療機関の運営や医師確保についての長年に渡る実績があり、本事業の実施に必要な実績・ノウハウ・ネットワークを有していることから、受託者として適当である。
○		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
-		受益者との負担関係は妥当であるか。	
○		費目・使途が事業目的に即真に必要なものに限定されているか。	

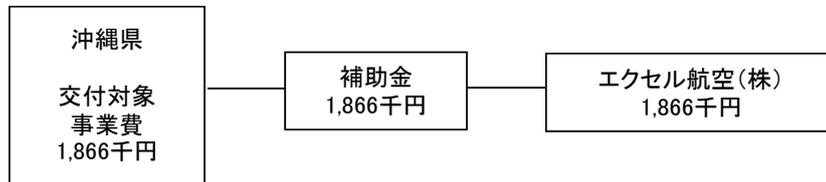
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	5	離島交通ヘリコプター活用支援事業		新沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所 (第4章)	2-(8)-I-①							
					離島空港の機能強化及び離島航空路の確保・維持							
担当部課名	企画部 交通政策課	事業実施 (予定)年度	H29~R13	年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-9-(2)						
事業内容	離島の交通ネットワークを確保するため、船舶の欠航等が発生した場合に、代替手段となるヘリのチャーターに要する経費の一部を補助する。											
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)											
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()											
予算額・執行額 【単位:千円】	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	R4年度	9,775	R4年度(繰越)		R5年度	7,804	R5年度(繰越)		R6年度	7,804
		(b) 予算現額	9,775			7,804		7,804			7,804	
		(c) 増減額(b-a)	0		0		0		0		0	
		(d) 前年度繰越額	0			0						
		A. 計(b+d)	9,775		0		7,804		0		7,804	
	B. 執行済額		4,474			2,690					1,866	
	うち交付金充当額		3,579			2,152					1,492	
	C. 次年度繰越額		0			0			0		0	
	執行率(%) (B/A)		45.8%			34.5%					23.9%	
	予算の状況の説明		執行率は23.9%であり、運行回数が見込みより減少したことによるものである。									
活動目標 (指標) 及び進捗状況	R6活動目標(指標)		進捗状況									
				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度					
	航空路線のない離島((渡嘉敷、座間味、波名喜)へのヘリチャーターによる年間運航回数)		目標	262回	-	185回	185回					
			実績	147回	-	64回	46回					
	船舶欠航日数に対する運航日数の割合		目標	-	100%	-	-					
		実績	-	100%	-	-						
進捗状況説明		年間運航回数の目標値185回に対して、実績は46回となっているものの、年間の船舶欠航日数(延べ24日)に対し、運航日数が延べ24日(船舶欠航日数に対する運航日数の割合100%)となり、事業の目的を達成できた。										
成果目標 (指標) 及び達成状況	R6成果目標(指標)		基準値 (〇〇年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (〇〇年度)					
	船舶欠航日数(天候不良等によるヘリの欠航日、ヘリチャーター無予約日を除く)に対する運航日数の割合		目標	-	100%	100%	100%					
			実績	-	100%	100%	100%					
	達成状況説明		年間の船舶欠航日数(延べ24日)に対し、運航日数が延べ24日(船舶欠航日数に対する運航日数の割合100%)となり、目標値を達成できた。									

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・台風時や海上時化等による船舶欠航の場合は、事業対象の3村で同時期にヘリコプターの需要が発生する。</p>	<p>・船舶欠航時の運行回数の増加や、運行時間延長等の対応策について、補助事業者と調整を行う。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・船舶欠航時の運行回数の増加等に対応できるよう、引き続き、補助事業者及び関係3村との連携の下、ヘリコプターの安全運航の確保や、利用者の利便性向上に向けた調整を行う。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
1,866	1,866	1,492	374	0	0	0



資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>・支出先については、本事業は、当該3村が県に対し費用の一部負担の申し出を受けて実施した事業であるため、妥当である。</p> <p>・費目や使途については、事業目的の観点から必要な物であるか、完了検査、額の確定時において、支出等に関する証拠類を確認し、適正であった。</p> <p>・受益者負担を求めつつ、県が一定の補助を行うことで財政的に厳しい3村の費用負担軽減を図っており、負担関係は妥当であると考えている。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

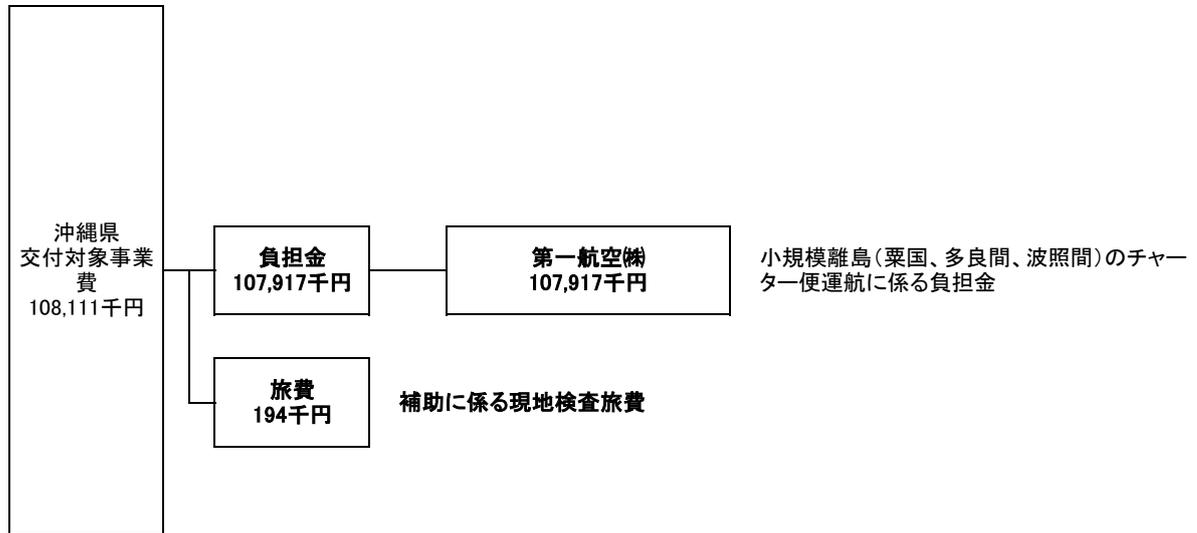
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6 離島航空路チャーター運航支援事業		新沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所 (第4章)	2-(8)-I-①				
	企画部 交通政策課			事業実施 (予定)年度	R5~R13 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	離島空港の機能強化及び離島 航空路の確保・維持	
担当部署名	企画部 交通政策課		事業実施 (予定)年度	R5~R13 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	III-9-(2)		
事業内容	離島住民の交通手段である離島航空路を確保維持することにより、離島の定住条件の整備を図るため、小規模離島の生活路線として運航しているチャーター便の運航に伴い生じた欠損額に対し、関係町村と協調して補助を行う。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】			R4年度	R4年度(繰越)	R5年度	R5年度(繰越)	R6年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額				78,683		109,250
		(b) 予算現額				71,925		109,250
		(c) 増減額(b-a)		0	0	▲ 6,758	0	0
		(d) 前年度繰越額						0
		A. 計(b+d)		0	0	71,925	0	109,250
	B. 執行済額					63,015		108,111
	うち交付金充当額					50,412		86,488
	C. 次年度繰越額					0	0	0
	執行率(%) (B/A)					87.6%		99.0%
予算の状況の説明		チャーター運航3路線ともに計画どおり運航費補助を実施した。						
活動目標 (指標) 及び進捗状況	R6活動目標(指標)		進捗状況					
				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	チャーター運航に対する欠損補助		目標			3路線	3路線	
			実績			1路線	3路線	
進捗状況説明		チャーター運航している3路線については、運航に伴う欠損に対して補助を行った。						
成果目標 (指標) 及び達成状況	R6成果目標(指標)		基準値 (〇〇年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (R7年度)	
	県内離島航空路線の確保維持		目標		14路線	14路線	13路線	
			実績		12路線	13路線		
達成状況説明		北大東-南大東路線については、令和6年8月から運航廃止となったため、目標14路線に対して13路線の維持となった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	離島航空路線は、小型の航空機で運航することから、固定費の割に座席数が少なく、一人当たりの座席コストが割高となる。	離島航空路を確保維持するため、事業者において適切な人員体制等により費用の効率化を図るとともに、県・町村においては住民や観光客の需要喚起を図るなど、官民が連携して取り組みを検討する必要がある。
今後の取り組み方針		
離島航空路を確保維持するため、事業者において適切な人員体制等により費用の効率化を図るとともに、県・町村においては住民や観光客の需要喚起を図るなど、官民が連携して取り組みを検討する必要がある。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
108,111	108,111	86,488	21,623	0	0	0



資金の流 れ、費 目 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○負担金については、事業者に対し、運航に係る欠損額に対して適正に交付した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即真に必要なものに限定されているか。	

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	7 離島航路船員確保・育成支援事業	新沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所（第4章）	2-(8)-I-②				
担当部課名	企画部 交通政策課	事業実施（予定）年度	R5～R13 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	III-9-(2)		
事業内容	離島住民のライフラインである離島航路について、船員不足の課題解決のため、船員の確保及び質の向上に資する支援を実施することで、安定的・持続的な航路の確保・維持を図り、離島の定住条件を整備する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度（ 年度）						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】		R4年度	R4年度（繰越）	R5年度	R5年度（繰越）	R6年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額			12,240		10,986
		(b) 予算現額			12,240		10,986
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	0	0	0
		(d) 前年度繰越額			0		0
		A. 計 (b+d)	0	0	12,240	0	10,986
	B. 執行済額				7,717		7,750
	うち交付金充当額				6,173		6,200
	C. 次年度繰越額				0	0	0
	執行率（%）(B/A)				63.0%		70.5%
予算の状況の説明		執行率は70.5%であり、補助金申請額が見込みより少なかったことによる。					
活動目標（指標）及び進捗状況	R6活動目標（指標）		進捗状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	就業体験者数	目標			30名		
		実績			4名		
	就業体験実施回数	目標			-	30回	
		実績			-	5回	
	補助金受給者数（航路事業者の県外への技術研修等への派遣に要する費用の補助）	目標			9名	9名	
		実績			3名	2名	
	補助金受給者数（海技免許取得等の際の研修受講等に要する費用の補助）	目標			4名	4名	
		実績			68名	71名	
進捗状況説明	就業体験については、目標回数30回に対して、実施回数5回と目標を達成できなかった。海技免許取得等に要する補助については、目標値4名に対し、実績値71名と目標を達成したが、航路事業者の県外への技術研修等への派遣に要する補助は、目標を達成できなかった。						
成果目標（指標）及び達成状況	R6成果目標（指標）		基準値（〇〇年度）	R4年度	R5年度	R6年度	目標値（〇〇年度）
	就業体験者数	目標		-	30名	-	
		実績			4名	-	
	就業体験回数	目標		-	-	30回	
		実績			-	5回	
	補助金受給者数（航路事業者の県外への技術研修等への派遣に要する費用の補助）	目標		-	9名	9名	
		実績			3名	2名	
	補助金受給者数（海技免許取得等の際の研修受講等に要する費用の補助）	目標		-	4名	4名	
		実績			68名	71名	
	達成状況説明	就業体験回数については、目標回数30回に対して実績5回と目標が達成できなかった。航路事業者の県外への技術研修等への派遣に要する費用への補助については、目標値9名に対し実績2名となったものの、海技免許取得等に要する費用への補助は、目標値4名に対し実績71名となった。					

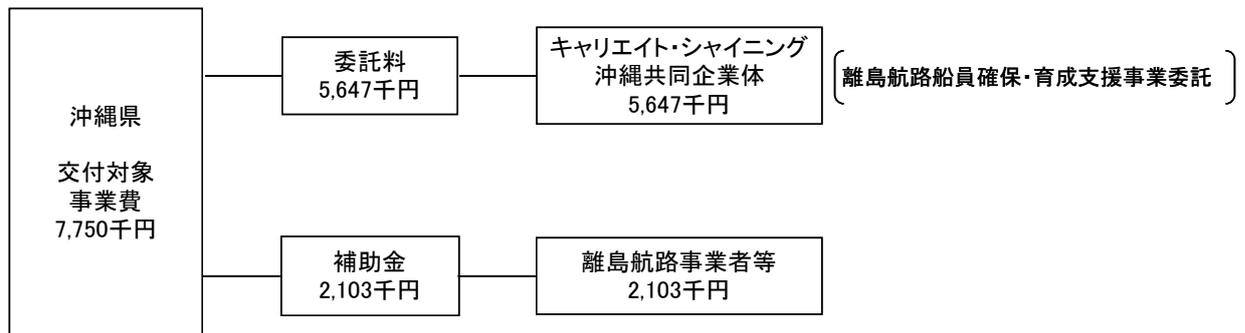
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>高校生(水産系以外)向けの就業体験については、就業体験自体を年度計画に入れていない学校があることや、就業体験を実施していても、受入企業リストを学校独自に開拓しているため、外部からの提案を校内就業体験に位置付け、興味を持ってもらうことがなかなか難しいという状況にある。</p> <p>補助金(航路事業者の県外への技術研修等への派遣に要する費用への補助、海技免許取得等に要する費用への補助)については、引き続き、関係団体等への補助制度の周知等に努める。</p>	<p>就業体験については、高校との連携強化や県HPでの情報発信等(就業体験参加者へのインタビュー動画掲載等)により、就業体験参加者数の増加を図るとともに、対象者を拡大(UIJターン者等を就業体験の対象者に追加)する。</p> <p>補助金については、引き続き関係団体等への補助制度の周知等に努める。</p>

今後の取り組み方針

・離島住民のライフライン(人流・物流)である離島航路の安定的・永続的な確保・維持を図るため、引き続き、高校生(水産系以外)向けの就業体験の実施や離島航路事業者等への補助金支給による船員の確保・質の向上に努める。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
7,750	7,750	6,200	1,550	0	0	0



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の用途の点検・評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>・委託業務は、公募型プロポーザル方式により、企業規模、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考える。</p> <p>・費目や使途については、事業目的の観点から必要な物であるか、完了検査、額の確定時において、支出等に関する証拠類を確認し、適正であった。</p> <p>・受益者負担を求めつつ、県が一定の補助を行うことで財政的に厳しい航路事業者及び水産系学科の高校生の費用負担軽減を図っており、負担関係は妥当であると考えている。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	